

01 ネット時代の
成功例に学べ!

起業家の人生を描く新作落語で
会社の理念を伝える

▶ 日本の大手旅行会社は創業120周年を記念して、創業者を題材にした新作落語の制作を落語家に依頼した。

同社の創業者は明治時代に滋賀県草津市で開業し、顧客に寄り添い、魅力ある旅を創造しておもてなしに努めるというホスピタリティの精神で事業を続けてきた。その精神は今も会社に息づいている。新作落語では、創業の思いと会社の歴史、未来への取り組みについてユーモアを交えて描かれることになった。

依頼を受けた落語家は創業者の子孫や関係者から創業当時のエピソードを取材して噺を作り上げ、今年3月に初披露した。草津の地域文化と歴史も織り交ぜているので、企業のPRを超えたご当地落語に仕上がったとの好評を得た。同社のYouTubeアカウントでは映画監督が制作したメイキング映像を公開し、新作落語の動画もアップする予定だ。

落語を通じて会社の理念を幅広い層に楽しく伝えられるだけでなく、地域文化の発信と伝統芸能の新たな試みとしても注目されている。

02 繁栄企業の
成功要因を探る

運動をすると野菜がもらえる
毎日通いたくなるフィットネス・ジム

▶ 東京・世田谷にある女性専用フィットネス・ジムは、会員が無料で野菜や果物をもらえると話題になっている。品揃えは日によって違うが、じゃがいも、にんじん、たまねぎ、ピーマンなど定番の野菜の他に、ぶどう、桃、柿など季節のフルーツも入荷する。会員がトレーニングの後、専用の紙袋にいっぱい詰めて持ち帰ることができる。その野菜を使った献立をスタッフに聞くことも可能だ。

提供される野菜・果物はどれも東京都中央卸売市場から直接仕入れているので新鮮だ。サイズや形状が規格外で本来は廃棄されるもので、フードロス問題の解消にも役立つ。

料金は通常コース1か月1万5,000円(税抜)。運動メニューは10分・20分・30分とあるが、気分が乗らない時は5分でもOK。野菜をもらいにくるだけでも、スタッフとおしゃべりするだけでも歓迎だ。気軽に通えるため運動習慣がない人も通いたくなるだろう。



Check! 要チェック! 進化するプロモーション手法に
必要な基礎知識

▶▶▶ 地域に根ざしたビジネスに役立つ
MEO対策 《前編》

ネットユーザーがWEBページのみならず実店舗を検索で探すことも多い。店や会社がWEBページの閲覧数より、実店舗の集客を増やしたい場合もある。その時に役立つのがMEO対策である。

● 地図上の表示順位を上げるMEO対策

Googleなどの検索エンジンでネットユーザーが「〇〇区のカフェ」や「△△市の美容院」などと店やサービスを検索すると、店の紹介と同時に地図上の位置が表示される。このような地域名+業種などの検索で、自店が上位に表示されるよう最適化する施策がMEO (Map Engine Optimization) 対策である。

このMEO対策を強化すると、検索エンジン経由の来店や問い合わせの増加につなげることができ、集客力を高められる。スマートフォンの普及により位置情報を活用した検索が増えている今、地域に根ざしたビジネスにとってMEO対策は来店客を増やす非常に重要な手法になっている。

● SEO対策との違い

ネット検索を使った施策にはMEO対策の他に、SEO対策がある。

SEO (Search Engine Optimization) 対策は「検索エンジン最適化」と呼ばれ、特定のキーワードで検索された時に、対象のホームページを検索結果上位に表示させることを目的にしている。そのため、検索エンジンのアルゴリズムがユーザーにとって有益なサイトと判断するように、コンテンツを最適化し、外部リンクを獲得することなどが必要となる。対象は全国的またはグローバルなユーザーで、オンライン集客などに利用できる。

一方、MEO対策はGoogleマップなどの地図上の検索結果に特化し、地域性の強いビジネスの集客を目的にしている。そのため、地元の顧客をターゲットにして実店舗への集客促進に役立つ。

MEO対策とSEO対策は対象や目的が異なる。だが、相反するものでなく、両者を組み合わせることで、より効果的な集客も期待できる。

では、MEO対策はどのようにして行われるのだろうか。

次号へ続く